

## 6. 歯・口腔の健康

### (1) 基本的な考え方

歯・口腔の健康は、食事や会話を楽しむ上で重要な要素であるだけでなく、全身の健康にも深く関係していることが指摘されています。

生涯を通じて歯と口腔の健康が維持できるよう、こどもの頃からの歯みがき指導や、定期的な歯科健康診査の受診勧奨、オーラルフレイル<sup>※33</sup>予防など、ライフステージの課題に応じた取組を推進することが求められます。

### (2) 現状と今後の課題

#### 【本市の現状】

#### ① 歯科保健の状況

- 市の実施する成人歯科健康診査の受診率は、年代が上がるほどおおむね高くなる傾向にありますが、最も高い70歳においても2割台にとどまっています。
- ここ1年間に歯科健康診査を受けたことがある人の割合は男性の方が低い傾向にあり、特に18～39歳が低くなっています。
- 第2次計画の評価をみると、「むし歯のない者の割合（3歳児）」は増加し、改善となっていますが、「歯周炎を有する者の割合（40歳）」は増加し、悪化の評価となっています。

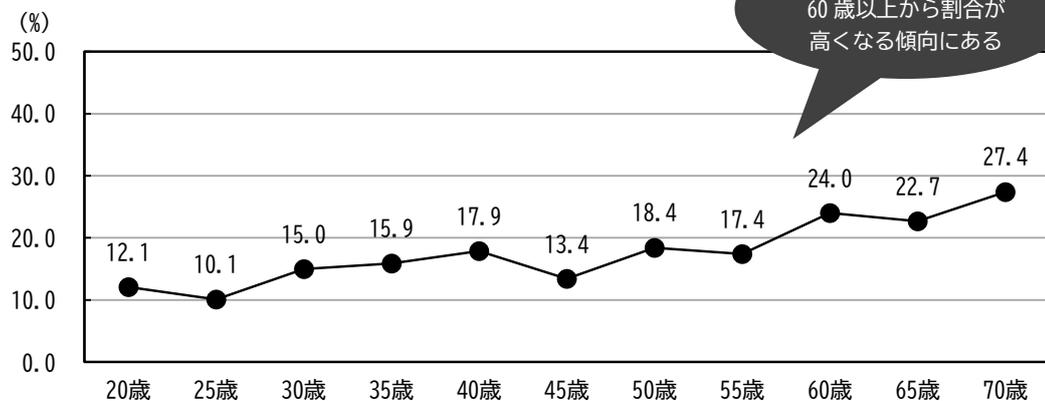
#### ② 歯みがきの状況

- 歯みがきの状況を見ると、15～17歳、18～39歳、40～64歳では昼食・夕食の後、ねる前に歯みがきをする人の割合が低い傾向にあります。

#### ③ 8020の達成状況

- 第2次計画の評価をみると、「80歳以上で20本以上自分の歯を有する者の割合」は増加し、目標値に達しています。

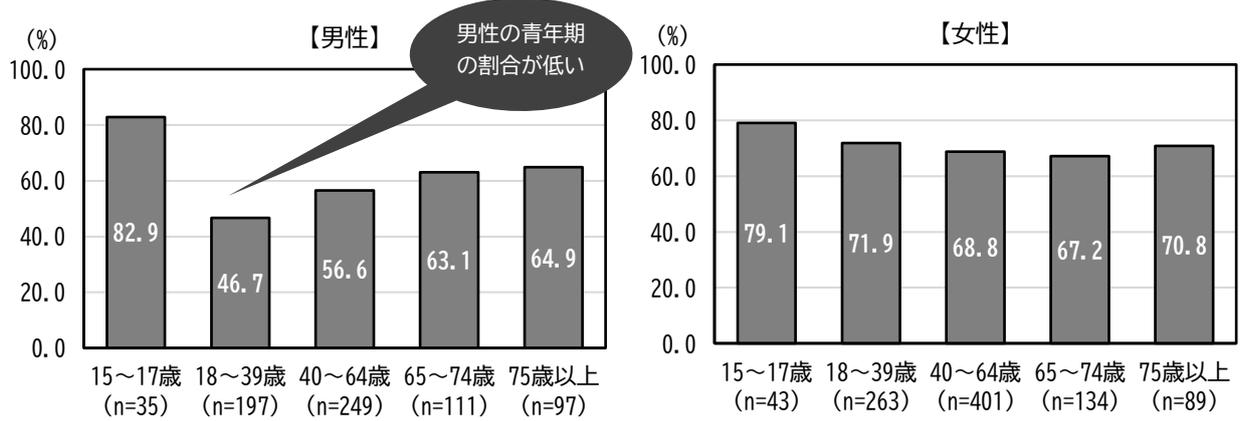
〈図29〉市の実施する成人歯科健康診査受診率の推移



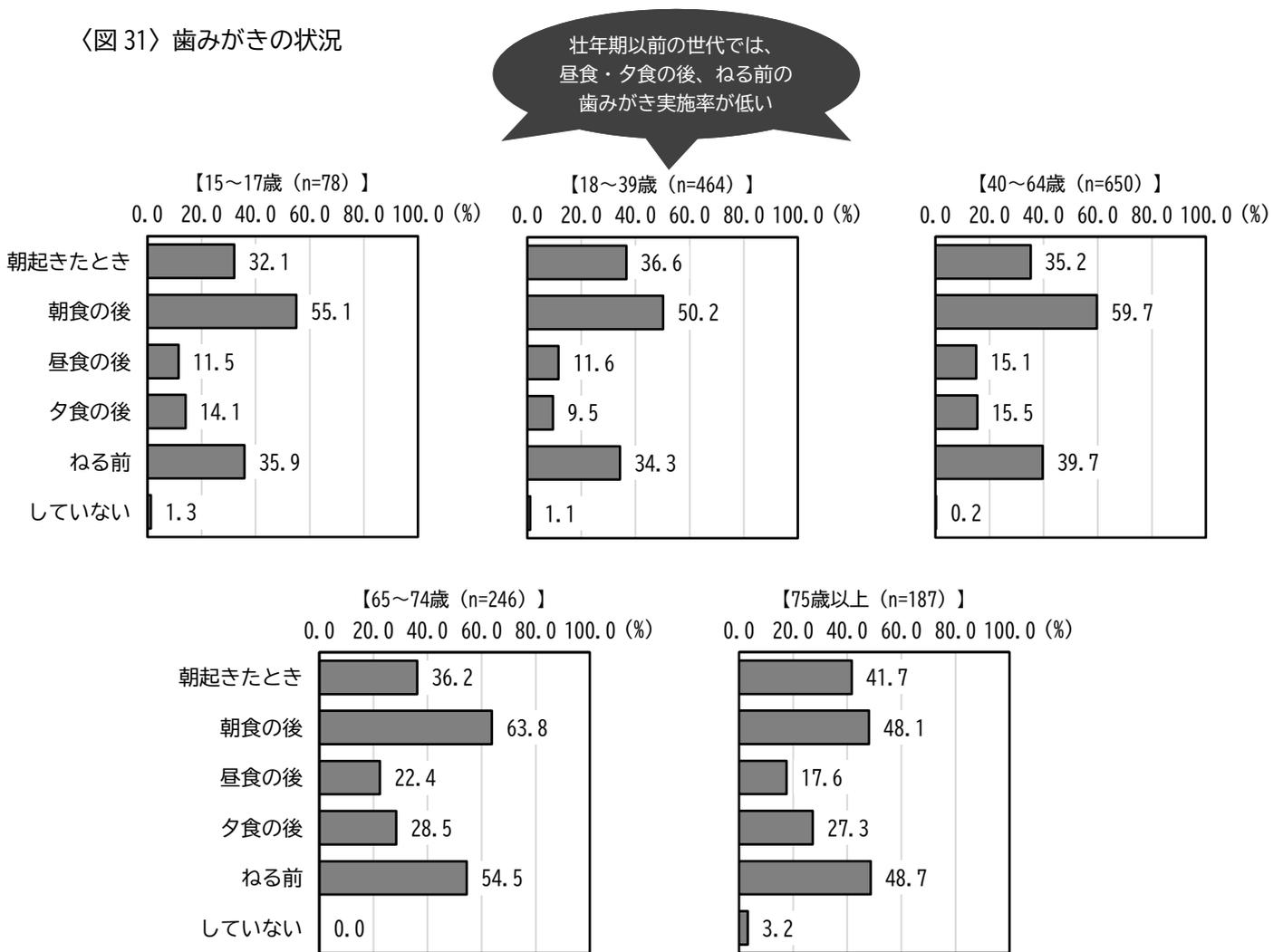
資料：健康推進課（令和5年度）

※33 オーラルフレイル：老化に伴う様々な口腔の状態（歯数・口腔衛生・口腔機能など）の変化に、口腔健康への関心の低下や心身の予備能力低下も重なり、口腔の脆弱性が増加し、食べる機能障害へ陥り、さらにはフレイルに影響を与え、心身の機能低下にまでつながる一連の現象及び過程のこと。

〈図 30〉ここ 1 年間に歯科健康診査を受けた人の割合

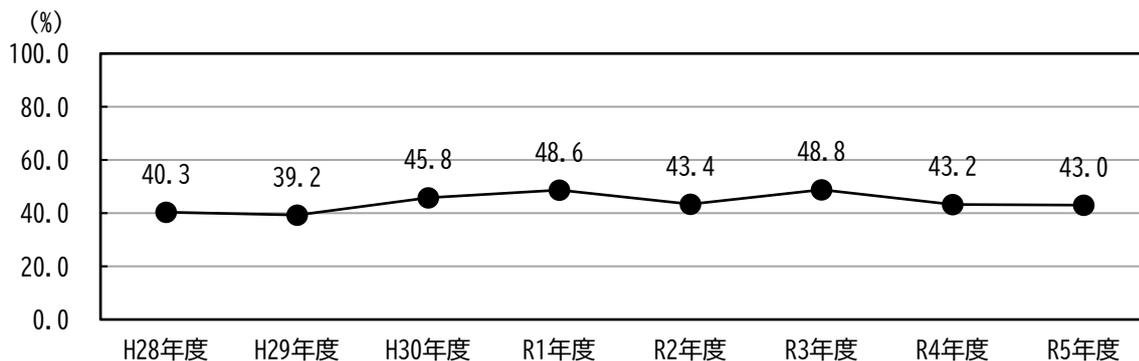


〈図 31〉歯みがきの状況



資料：図 30・31 「刈谷市健康づくりに関する調査（令和 5 年度）」

〈図 32〉 40 歳で歯周炎を有する人の割合の推移



資料：「歯科健康診査」(刈谷市)

## 【今後の課題】

### ■歯科保健の推進

全身の健康を保つ観点からも、歯・口腔の健康づくりが必要となっていますが、第2次計画の指標として設定した「歯周炎を有する者の割合(40歳)」は計画策定時より増加しています。夕食の後・ねる前の歯みがきをする人の割合も5割以下にとどまっており、口腔清掃習慣の定着に向けた取組が求められます。

また、歯科疾患は症状が現れにくく、気づかぬうちに進行することがあるため、定期的に健診を受けることが重要となり、受診しやすい環境の整備など、受診率向上に向けた取組を行う必要があります。

### ■オーラルフレイル予防に向けた取組の推進

口腔機能が低下すると、食事のバランスが悪くなり、運動機能や生理機能を正常に保つことが困難になります。第2次計画の評価をみると、8020の達成者は増加し、改善傾向にありますが、高齢化が進行する中においては今後も引き続き、オーラルフレイル予防の取組を強化していく必要があります。

## (3) 取組の方向性と目標・指標

### ①歯と口腔の健康に関する周知啓発

- ホームページ等を活用し、8020運動<sup>※34</sup>や、正しい口腔清掃方法、定期健診の重要性についての周知啓発を行い、乳幼児期から高齢期に至るまで継続したむし歯・歯周病予防を推進します。
- 各種健診や健康教室等の機会を通じ、歯の健康や口腔ケアについて学ぶ機会を提供します。

※34 8020運動(ハチマルニイマル運動)：自分の歯が20本以上あれば何でもよくかんで食べ物を美味しく食べることができるということから、「80歳になっても自分の歯を20本以上保とう」という運動。

## ②歯科保健の推進

- 口腔内の異常や歯科疾患の早期発見に向けて、乳幼児歯科健康診査、妊産婦歯科健康診査、成人歯科健康診査、歯科相談を実施し、適切な指導を行います。
- 歯科健康診査の受診率向上に向けて、効果的な周知方法を検討します。

## ③オーラルフレイル予防に向けた取組の推進

- 成人歯科健康診査受診時に、口腔機能向上を目的としたリーフレット等を配布して周知を行うとともに、事後指導を行います。
- オーラルフレイルの周知や予防に向けて、口腔ケアや誤嚥予防などの指導を受ける機会を提供します。

### 《目標・指標と具体的な取組》

目標	指標		現状値 (令和5年度)	目標値 (令和16年度)
成人歯科健康診査受診率を上げる	歯科健康診査を受診する人の割合	妊産婦	49.2%	50.3%
		20歳	12.1%	20.0%
		40歳	17.9%	20.0%
	<b>【目標達成に向けた取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ、SNS等を活用した周知啓発</li> <li>・チラシやメールマガジンを活用した事業所への周知啓発</li> <li>・駅、市バスへの広告掲示</li> <li>・医療機関と連携した受診勧奨</li> <li>・Web予約ができる医療機関の把握と市民への周知啓発</li> <li>・未受診者に対する受診勧奨</li> <li>・健康教室における受診勧奨</li> </ul>			
目標	指標		現状値 (令和5年度)	目標値 (令和16年度)
むし歯のないこどもを増やす	むし歯のないこどもの割合	3歳児	95.1%	95.5%
		中学1年生	87.2%	90.0%
	こどもの仕上げみがきをしている保護者の割合	1歳6か月児の保護者	67.7%	90.0%
		<b>【目標達成に向けた取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フッ化物歯面塗布の実施</li> <li>・乳幼児健診、妊産婦歯科健康診査等におけるチラシの配布や掲示</li> <li>・よい子の歯みがき運動の実施</li> <li>・歯科健康診査の実施</li> <li>・食後の歯みがき指導の実施</li> <li>・フッ化物洗口の実施</li> <li>・咀嚼を意識した給食メニューの提供・指導</li> <li>・学校歯科医による歯科授業の実施</li> <li>・給食時の咀嚼指導の実施</li> </ul>		

目標	指標		現状値 (令和5年度)	目標値 (令和16年度)
歯周炎有病者を減らす	歯周炎を有している人の割合	40歳	43.0%	25.0%
	<b>【目標達成に向けた取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ、SNS等を活用した周知啓発</li> <li>・医療機関と連携した周知啓発、効果的な方法についての検討</li> <li>・かかりつけ歯科での定期健診の推進</li> <li>・歯間清掃用具を活用した口腔清掃習慣の周知啓発</li> <li>・チラシやメールマガジンを活用した事業所への周知啓発</li> </ul>			
目標	指標		現状値 (令和5年度)	目標値 (令和16年度)
高齢者の口腔機能を向上させる	後期高齢者歯科口腔機能健康診査の受診率	75歳、77歳	23.6%	28.0%
	8020歯の表彰者の割合	80歳以上	25.5%	32.0%
	<b>【目標達成に向けた取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ等による周知啓発</li> <li>・健康教室における受診勧奨と、オーラルフレイル予防の取組と正しい知識の周知啓発</li> <li>・駅、市バスへの広告掲示</li> <li>・医療機関と連携した受診勧奨</li> <li>・高齢者向けイベントによる周知啓発</li> <li>・健康教室の実施</li> </ul>			

